

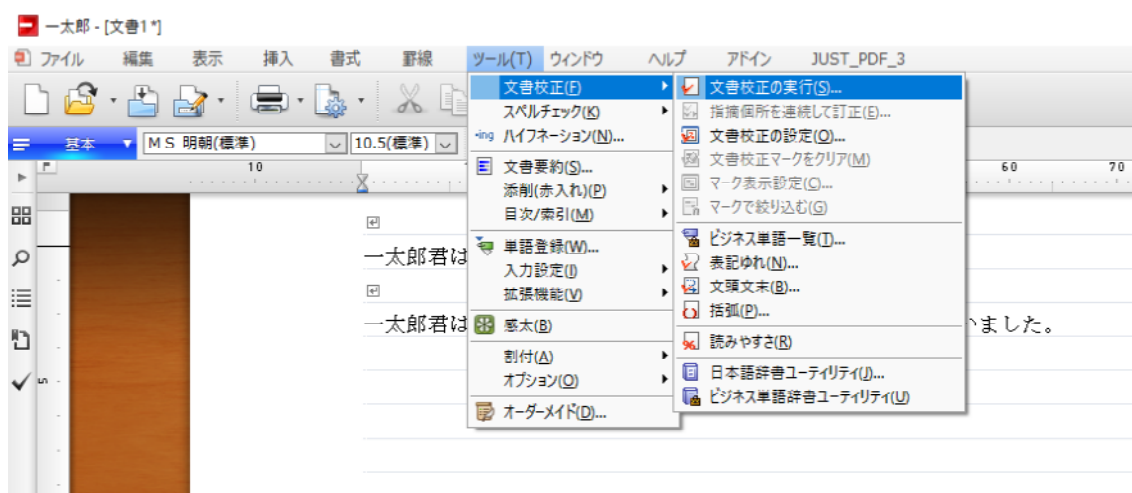
【一太郎 2017 編】

話し言葉の会話文を文書校正で指摘されないようにするマル秘テク

会話文では、「話してます」「あっちです」というように、口語特有のくだけた表現が日常的に使われます。しかしそれ以外の文、特に改まった文章では、あまり好ましいものではありません。一太郎 2017 の文書校正機能では、最初に例に挙げたようなくだけた表現をチェックできますが、物語や小説など、会話文で意図的に用いているくだけた表現まで指摘されるのは困りものです。こういう場合には、校正の設定を変更することで、括弧内の表現を指摘対象から外すことができるので、必要に応じて設定を使い分けてください。

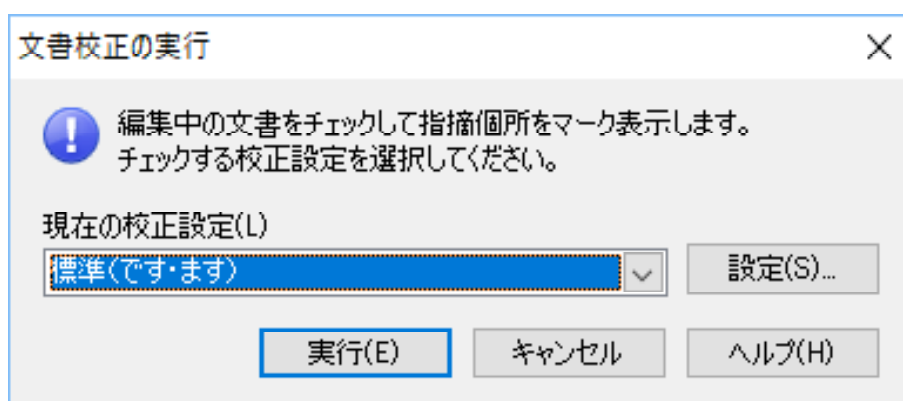
●文書校正を実行する

1. [ツール－文書校正－文書校正の実行] を選択します。



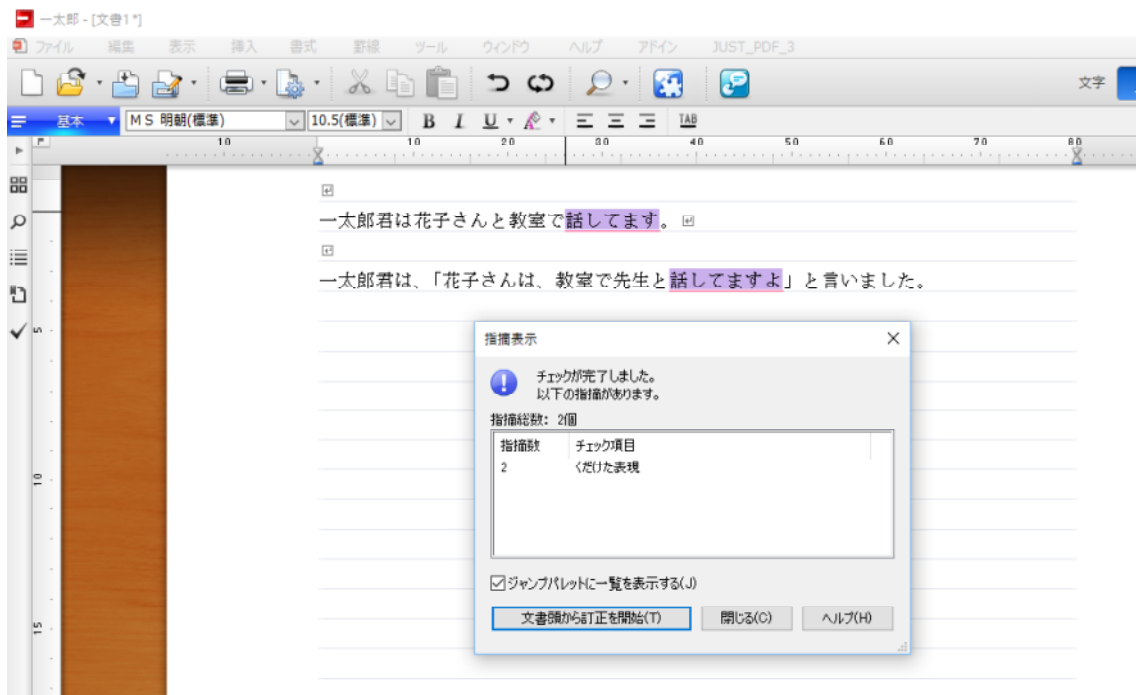
↓

2. [現在の校正設定] で [標準 (です・ます)] を選択し、[実行] をクリックします。



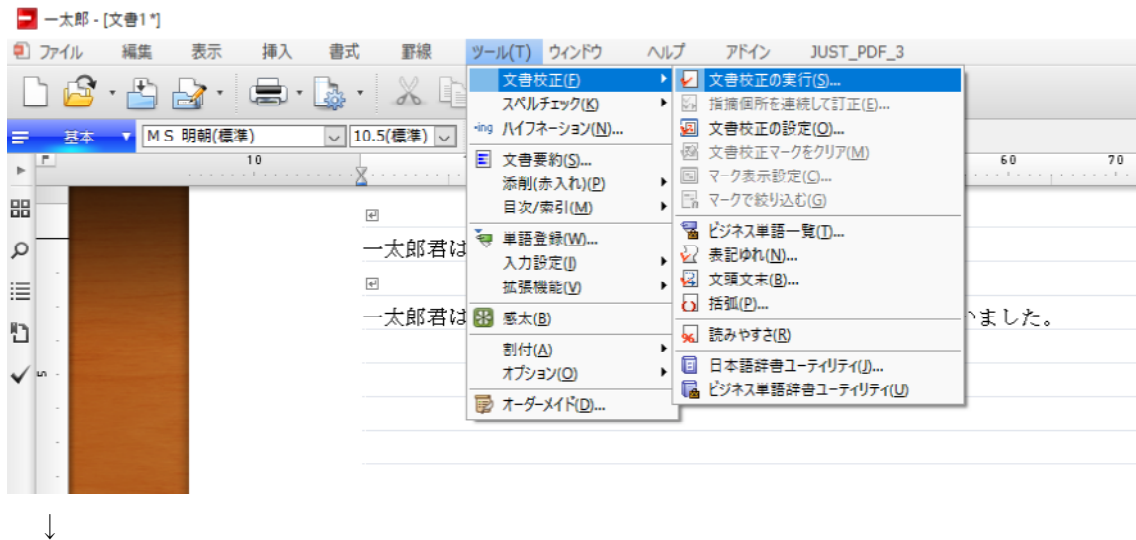
↓

3. 括弧内のくだけた表現も指摘されます。

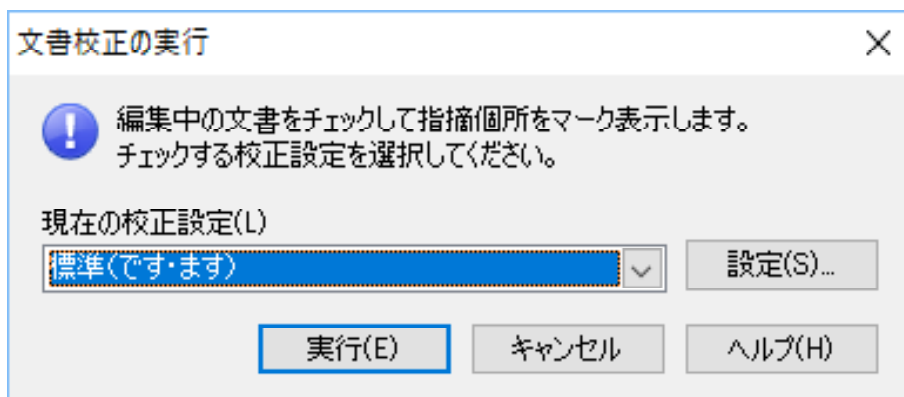


● 文書校正の設定を変更して実行する

1. [ツール>文書校正>文書校正の実行] を選択します。

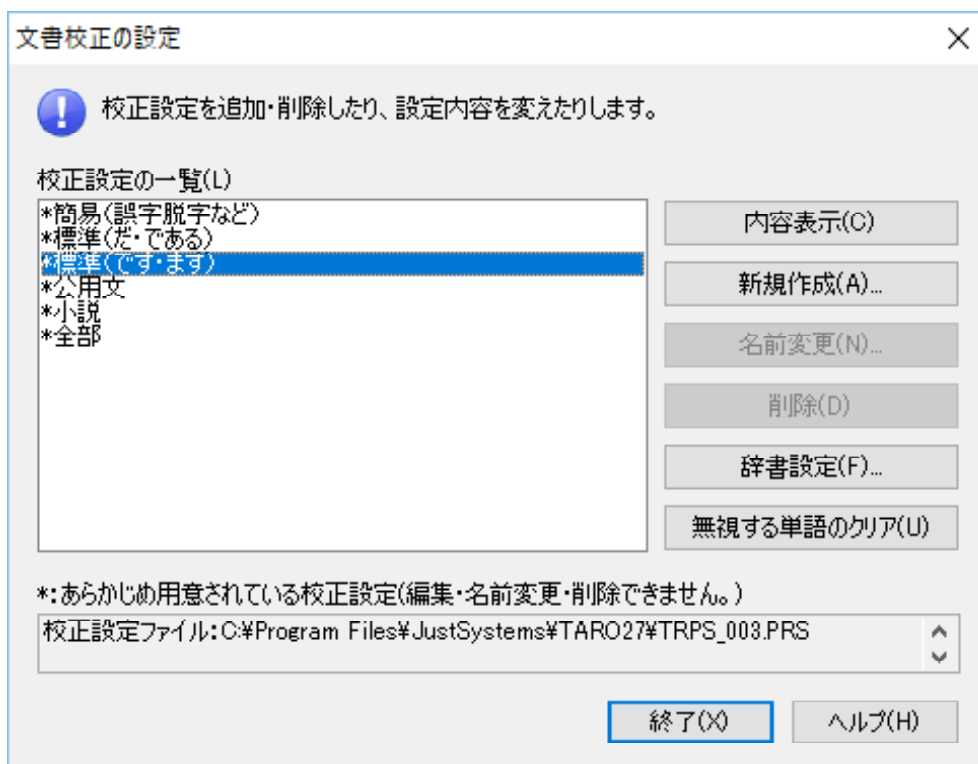


2. [標準 (です・ます)] を選択し、[設定] をクリックします。



↓

3. [です・ます] が選択された状態で、[内容表示] をクリックします。



↓

4. [表現洗練] タブで、[くだけた表現] の [括弧内もチェックする] をオフにし、[別名で保存] をクリックします。

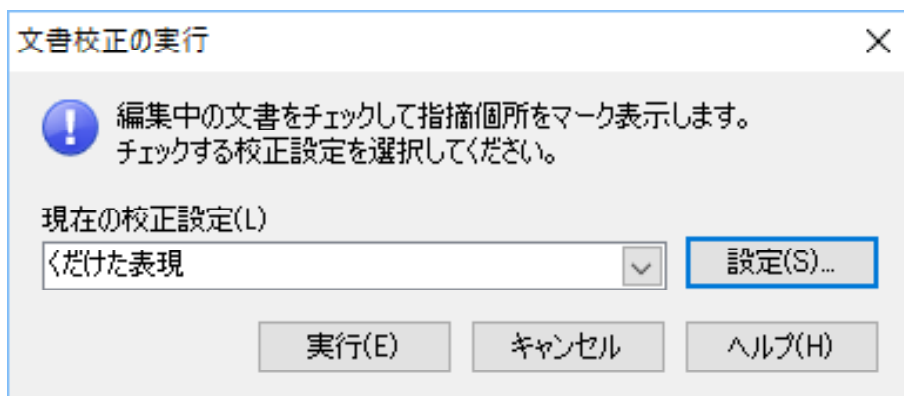
※あらかじめ用意されている校正設定の内容は変更できません。

↓

5. [校正設定名] を入力し、[OK] をクリックします。[文書校正の設定] ダイアログボックスは [終了] をクリックして閉じます。

↓

6. [現在の校正設定] で、作成した設定が選択されているのを確認し、[実行] をクリックします。



7. 括弧内のくだけた表現は指摘されなくなります。

